

国際ロータリー第2500地区第6分区

帯広東ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018-2019 年度

帯広東ロータリークラブ

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

「前進への挑戦」

第1653回例会

平成31年4月16日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広

y.kato



2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ

【インスピレーションになろう】

2018-2019 年度国際ロータリー会長

バリー・ラシン

ガバナーテーマ

【行動するロータリー、つながるロータリー】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー

細 川 吉 博

月間テーマ

【母 子 の 健 康 月 間】

◎起 立

古川直也 副SAA

◎友情の握手

古川直也 副SAA

◎点 鐘

益子裕之 会 長

◎開 会 宣 言

古川直也 副SAA

ロータリーソング (我等の生業)

◎会 食

会長挨拶

益子裕之 会長

皆さんこんにちは。天気が大変良くなりまして明日は24度という予報が出ております。今朝ニュースを見ておりますと、フランスのノートルダム寺院の大聖堂が火事で燃え落ちたと、燃え落ちる様子がテレビで映っていましたが、世界遺産の歴史的な建物ということで名前は皆さんもご存じのことと思います。世界はいろんなことで日々動いているなと実感するわけでございます。

今日はゴルフの話をしたいと思います。先日マスターズでタイガー・ウッズ選手が優勝しました。私も東クラブのゴルフ同好会の一員ですので、大変興味をもって見ておりましたがメジャーで15勝これは大変なこととして、メジャーと呼ばれるのは「全英オープン」「全米オープン」「全米プロゴルフ」「マスターズ・トーナメント」が呼ばれてまして、その中でジャック・ニクラスとタイガー・ウッズだけが、20代30代40代で優勝するという偉業を成し遂げているのはこの2人だということでございます。タイガー・ウッズ選手は皆さんもご存じかと思いますが、



いろんなスキャンダル、体の不調、手術を乗り越えてやっと昨年度メジャーに挑戦出来る様な状況に戻って来て翌年に、マスターズを優勝したということでトランプ大統領も祝辞を述べておりましたけど、ニュースを見ておりますとアメリカ国内では国民の人気があるということで、独占している状況でありました。ゴルフの話題はこれくらいにしておきまして、十勝管内も各ゴルフ場がオープンしているようですが、中々皆さん事情があり行けないかもしれませんが、天気が良くなってきました、表に出て楽しく過ごしていただきたいものだと思っております。

以上会長とさせていただきます。ありがとうございました。

会務報告

池田 誠 幹事

◎帯広北RC・帯広東RC・音更RC

合同夜間例会開催のご案内

日時 平成31年4月23日(火)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

◎帯広東RC、4月30日(火)は祝日のため休会と致します

◎帯広東RC・帯広RAC夜間交流例会開催のご案内

日時 令和元年5月7日(火)午後7時

場所 ホテル日航ノースランド帯広

会費 4,000円

二次会 スナック Pear Wink(会費：3,000円)

◎例会終了後、臨時理事会を開催致します

ニコニコ献金

親睦活動委員会 山口洋幸 委員

●益子会長 春うらら…創立35周年の準備も始まりました。皆様宜しくお願い致します。

●加藤(武)副会長 4月26・27日PES(ペッツ)では役員の皆様にお世話になります。どうぞ宜しくお願い致します。

●池田幹事 あたたかくなって来ました。ニコニコします。

●板倉会員 めでたく金婚式を迎える事が出来ました。

●馬淵会員 海外で移植を受けた私の腎臓は丁度10年が経過、私の人生を変えてくれました。当時のドナーとDrに感謝です。

●上野会員 今日の例会プログラムを担当します。どうぞ、よろしくお願い致します。



- **宮前会員** ある方の選挙応援で勝毎の一面でデビューしました。
- **古川会員** 本日は、十勝晴れで大変気持の良い日です。
- **角会員** 今日は暖かいですね。本日、情報集会の発表させていただきます。
- **加藤(肇)会員** 本日、情報集会の報告をいたします。よろしくお願いします。

プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

【情報集会報告】

上野敏郎 委員長



皆さんこんにちは。情報集会開催をお願いする例会日に近くなりまして申し訳なく思っております。また、こちらの方で考えた課題が話しをしにくい内容だったかと、後から気がついてこれは申し訳ない事だと思っております。

それでも3班に別れて情報交換をして頂いたことと思います。その発表をこれからお願いいたします。時間はたっぷりありますので、早く終わることのないようにお願いしたいと思います。

A班

加藤 肇 会員



皆さんこんにちは。A班は私(加藤)取りまとめしました。A班は4月9日18時30分より開催しました。13名中11名の参加となりB班で参加がかなわなかった森会員を含めて12名で行いました。

テーマ「らしさと、ロータリー覚悟」についてです。らしさというテーマで少々戸惑いながらも、各会員思うことを述べました。

その中でロータリアンらしいということで、最初はロータリーバッジが気恥ずかしかったが、最近は自信と自覚が出て来て人の為に何か出来るようになったと思う。

物を半分にしたとき多い方を他の人にあげられるようになったのは、ロータリーで勉強し成長出来たのではと思う。誰かの為に苦勞とか犠牲をはらうようになった。人と接したり何かをするときに、4つのテストに読み替えて見ている。損得から善悪をはかれるようになってきたらロータリアンらしくなって来てるかもしれない。相互扶助であったり友情であったり、自分の為が7割だとしたら残り3割は周りのために。人の役に立っていることで周りから感謝される行い、それによって自分が磨かれ充実を体感できる。人間力を養うことが出来それによって豊かな社会作りに貢献する。4つのテストを実践する自分がいてそれがロータリアンらしくなっていると思う。各会員からそれぞれの話を頂いたのをまとめてみました。

続いて東クラブらしいということで、東クラブとして継続的で骨になる活動を行ったほうがいいのでは。植樹会が終わってしまったわけだが、新たな継続的な伝統を作っていくのが良いのでは。例えば植樹したものを育樹することも必要であると思う。最近東ロータリーらしい楽しさが少なく感じることもある、楽しい東ロータリーでありたい。というお話もありました。

さらに、ロータリーあつての自分らしさということで、集会等には早く着く、時間を守る、ロータリーがあつて時間に敏感な自分がある。情報集会のような集いがロータリーらしさではないか。自分らしく仲間と楽しく語られる。顔と顔を合わせて飲んで話し、そして結束を深めていく。持病で止められていたものが解禁となったので、奉仕も飲食も出来ることを精一杯やり自分らしくロータリアンらしく過ごしていきたい。らしさについてのお話はこのような話が各会員から出ました。それぞれの話が出るごとに静かに耳を傾け、楽しく会話を繰り広げたりあつと言うまに時間が過ぎました。らしさに関するテーマの答えを、私はまとめきれないかもしれませんが、好意と友情をもってロータリーの仲間や他の人を思っていく、そこからロータリーらしさが広がっていくのかもしれないと思いました。

簡潔にまとめたので短くなってしましましたが、以上A班の報告になります。ご清聴ありがとうございました。

B班

及川武一 会員



皆さんこんにちは。B班の及川です。B班の情報集会は4月8日月曜日午後6時30分より、出席会員は合計8名で開催しました。始めにロータリークラブで最も大切なことは、奉仕のために心の友を得ることであるという

ところで、私たちは帯広東ロータリークラブでそのような友人が出来ましたかという問いに対して、あるいは作ろうとしましたかということに対して、一番最初に意見交換を始めました。意見では会うたびに気にして頂き支えになって頂きとても嬉しい。プライベートの中でのさりげない会話でも大変感謝しています。友人となる大先輩ばかりなので恐縮しますが親睦活動を通して、諸先輩に困っていることを相談する際に気軽に答えて頂ける方ばかりで、また日常の会話からも勉強させて頂いており自分自身も皆様のようなロータリアンになれるよう日々努力しております。または友人とっていいのかわかりませんが気にさせて頂いており、お互いの仕事やプライベートの話を交わすということが真の心の友と考えている。また奉仕が無ければ真の友の域にまで達していない、自分なりに親睦を深めながら日々努力している。または最近例会に出席出来る機会がメッキリ減ってしまったので、中々出席が厳しい状況であります。森会員と齊藤会員には親身になって頂き非常に感謝しております。まずは出席出来る様に会社の体制を整え努力しようと思えます。心の友はいくつになってもわかり合える、尊敬し尊敬される間柄でなければ成立しない。長く付き合っていく人がある、向こうにもそう思っている。そういう目標を持っている。最近の周りの意見では人を家に呼ぶことが嫌がる主婦が多くなっていますが自分は非である。東クラブの年齢層が幅広くなり若い皆様に招いて、一緒に料理を食べながら親睦を深めることがとても楽しい。

ここから少し厳しい意見もあります。うっすらと感じる、何故か手を上げると昔は13年会という10名程度の会があった、家族ぐるみの付き合いがあり、その後当クラブの活動の中心となり大きな収穫となった、創業者も多くお互いの共通点も有りとても親しくなった。そういった意味で昔から比べると薄っぺらいと思う。そこで石川会長の時に同好会を作った。今のメンバーでもプライベートで仲の良い人がある、もっとプライベートでも話すべきであるし、どうしていったらいいかどのようなことができるか考えてみよう。問題の解決するには個々の考えが必要である。薄っぺらいと言われればその通りである13年会は凄かった。むつみ会という会も有りとても勉強になった。東会や奥様達の委員会も存在していた。

一方で現東ロータリークラブには良い所が沢山ある、まずは帯広東ロータリークラブの例会に対する姿勢が素晴らしい、委員会に対しても対応が良い、会員同志認め合っているのだと思う。これからの東ロータリークラブの良さを前に出していきたい。若い世代が頑張っている仲間を作り上げ過ぎてほしい。またIMについても今までやっていないことにチャレンジをし見事に成功させた。他クラブからも称賛を得ることが出来た。

以上のような意見がありました。様々な貴重なご意見があり有意義な時間を過ごす事が出来ました。東クラブのらしさは家族的な雰囲気だと思います。薄っぺらなものを積み重ね束ねて厚くなっていき、日々の親睦活動・同好会としてコミュニケーションを通じて、心の友を作っていきたいと感じました。また今回の発表に関しまし

て、安藤会員にはお忙しい中助けて頂きましたありがとうございます。多数の出席を頂きました、忙しい中スケジュール調整して頂きありがとうございました。以上でB班の発表とさせて頂きます。ありがとうございました。

C班

角 高紀 会員



皆さんこんにちは。情報集会C班のリーダーをおおせつかった角と申します。C班が先週の金曜日に開催をさせて頂きました。参加者が上野さん・神田さん・福岡さん・加藤雄樹さん・鎌田さん・馬淵さん・高橋さん・私と8名で集会をさせて頂きました。私が1番年下ということで発表も誰がやるとも言わず、私がやりますということで今に立たせて頂いております。

進め方として切り口を上野委員長から事前に頂いていたのですが、余り硬くするのにもあれかなということで、今回は特に指名すること無くその場の雰囲気の流れの中で皆さんから話を頂いて、ICレコーダをセットして家に帰って後で聞いて、自分なりにまとめた内容を報告させて頂きたいと思えます。

まとめて見ますと6つ程のテーマにくることができまして、それを1つずつ報告をさせて頂きます。

1つめのテーマ「年を重ねると益々ロータリーの活動に磨きがかかる」という話がありました。ある方は70歳を過ぎると人と接する機会が減っていくので、ロータリーの会合に出るのが楽しくなっている。また週1回例会に参加することが生活のリズムがついてくる。という話がありました。あと福岡さんから直接のお話がありましてご紹介させて頂きます。ロータリーに入って良かった、ロータリーに入って無かったら今頃ぼけてしまったのに違いがない。精神的にも辞めることが出来ない。という話を頂いております。そういう話の中で周りの方から福岡さんは全国的に例会に参加するメンバー中では最高齢ではないかと、しかも東クラブの初代会長、福岡さんの存在自体がロータリーの歴史そのものではないかと、そのような意見がありました。

2つめのテーマです。「あの日あの時のロータリークラブ」あの時はこんなクラブだったよね。あの時はこんなロータリーだったよね。という話をまとめてみました。ある方は、過去はメイキャップをして100%出席というのを必ず達成していたと、そのような時期もあった。さらには100%をやるために、自分の会社の社員にメイキャップをさせる人もいたぐらい100%にこだわっていた時代があった。福岡さんの話なのですが、昔は100%は当たり前で当時の出席委員会のメンバーで、東クラブ

のメンバーが欠席してしまったとそれで家まで行って、なんで欠席したのかということで追求したところ、奥さんが調子悪くて欠席をしたのだけど、それが原因で退会してしまったと。そういった出来事もあったと。ある方は入会したけどすぐ辞めようと思っていた、ロータリー活動を通じてロータリーらしさがだんだん染みてきて、辞められなくなったという話がありました。ある方は勧誘されて入会しました、入会してすぐ辞めると思っていたが、今に至っています。もしロータリーに入っていなかったらおそらく、業界の世界だけでしかなかっただろう。しゃべるのも苦手で会長も経験させて頂いて、今では良くしゃべれるようになったと。会長になると毎週しゃべれるというのは誠に慣れて良かったと。会長になるとロータリーの友とか読んで勉強もした話も聞かれます。

話は変わりますが、帯広クラブの会長の話はロータリーの話しか話してはいけません。それも帯広ロータリークラブらしさですね。また東京ロータリークラブは会合の中で英語で会話をする人が沢山いると、これも東京ロータリーらしさですねという話が出ました。ロータリーらしさというのを一言でいうとすれば、4つのテストではないかが落としどころかなと思いましたけど。

3つめになりますけど、奉仕の実践というテーマでいきますと、奉仕の実践については人それぞれ形が違ってしまうと、ロータリーに入会するだけで必然的にポリオの寄付に加わることになりますので、これも1つの奉仕ということです。それから道路清掃これは東クラブでは継続事業になっていますけど、これは2003年頃に福岡さんが言い始めてやられた事業だそうです。そのような話を知るとその事業に対しての親近感が沸きますねという話もありました。それと十勝奨学会も立派な奉仕、これはロータリーらしさでしょうか。毎朝自宅の近所を掃除している長谷川名誉会員の姿をみてこれぞロータリアンだというイメージを持っていました。ロータリーで学んで会社で職業奉仕を実践している方も多いのではないのでしょうか。たとえば清掃活動をしている会社も多いですよ。ある方は社会奉仕という概念がなかったけど、ロータリーに入会して自分がやらねばならないと思うようになった。500円でオイル交換をしてその売り上げも社会福祉協議会に寄付している。またある方は50周年事業として10年間奨学金を支給するという事業に取り組んでいると。母子家庭・父子家庭という条件を元に給付をしていくと。これもロータリーで学んで職業奉仕に取り組んでいる実践例ではないかということです。

あと会員増強というテーマでいきますと、会員増強を考えますと宣伝をしなきゃいけないのではないのでしょうかと投げかけたところ、宣伝したところでそんなに認知はされないでしょう、認知されている人にわかってももらえれば、そういうレベルでいいのではないのでしょうか。派手さがなくても、それがロータリーらしさではないだろうか。それから帯広西クラブはJ CのO Bが多いとか、それも西クラブらしさ。東クラブは居心地の良いクラブという意味では、それが東クラブらしさ。昔は帯広の東西南北に区切りまして、勧誘活動もエリアで行ってきたのですが帯広南クラブが出来た頃に、そういったこ

とをやらなくなったと。その影響が今に至っているのではないかと、いう話もありました。会長・幹事会の話でエリア制に戻すといった提案もいかがかという意見もありました。

5つめ街づくりとロータリーということで、いろいろと皆さんと話している中で、もっと地域と連携する必要があるのではないかと、という話が出てきました。その中の1つの献血センターの話になりまして、帯広の献血センターというのは青年会議所のメンバーが中心になって、立ちあげたのですけど青年会議所のメンバーだけではなくて、周囲の方も巻き込んで行った事業だと話がありました。帯広の献血センターというのは日曜日しかやっていなくて、場所も東にあるのでそういった意味ではもっと若い人が集まるような場所、たとえば駅のエスタですとかそういった所で献血事業をやってもいいのではないかと、そういったことをロータリーからも発信してもいいのではないかと。それから街作りという意味で行くと、お祭りというのは地域のバロメーターという話がありまして、ロータリーとしてもそういった街作り、地域のお祭りに参加する。たとえば帯広であれば平原祭になります。それについて現在は開催日数も減ってきているし参加企業も年々減ってきている。そういった状況があるのでロータリーとしても何か協力出来ることはないだろうかということです。

6つめは次年度に何かやることで、話が出ましたのでお話をさせて頂くと、東クラブの30周年の時に植樹をされたということで桜の木を植えられた。その後どうなったかというのを誰も今は分からないという話になりまして、それでは次年度辺りでそれを見に行くような、事業か例会をやったらいいのではないかという話が出ました。

以上で私の方からC班の発表を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

◎閉会宣言

古川直也 副SAA

◎点 鐘

益子裕之 会 長

次回プログラム予定

理事会

4月23日(火)「3 R C 合同夜間例会」

十勝ロータリー奨学会支給式